

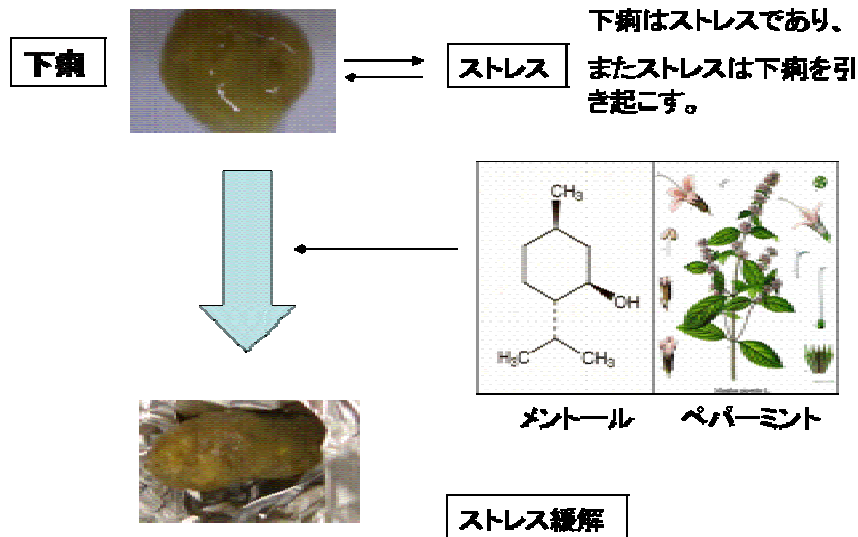
# メントールの腸管機能改善効果

静岡県立大学 食品栄養科学部 鈴木裕一

アロエ製薬株式会社 塩川健一

〔成果〕 研究の目的は、消化管機能を改善する食品成分を見出すことである。特に、様々な消化管の不調を改善する効果があるとして古くから利用されてきているペパーミント精油につき検討している。今回はペパーミント精油の主要成分であるメントールが、下痢を和らげる(緩下)効果を持つことを動物実験で明らかにした。すなわち、ひまし油を投与した下痢モデルマウスにメントールを投与(胃内に)したところ、下痢が有意に改善された。メントールは、緩下作用を持つ薬剤として、あるいは下痢を和らげる食品として利用できるのではないかと考えられる。

〔アピールしたい点〕



〔今後の展開・応用〕

- 1) 薬剤: 腸溶剤 メントールが腸で働くよう、胃で溶けず腸で溶け出すカプセルを開発する。
- 2) 食品: 下痢気味のヒトによい食品として、さまざまな食品に添加する。

〔研究者から一言〕

ミント類は長年にわたり消化器症状の改善作用を持つとして利用されてきたが、抗下痢効果ははっきりと意識されてこなかった。人でも抗下痢効果があるのか、副作用はないのか、どのような下痢に応用できるのか、その作用機序は何か、などまだまだ検討の余地はあるとはいえ、開発に値するものであると考えている。